

## 環境報告

### 2020年環境取り組みプラン

---

日野自動車は2016～2020年度までに実施すべき項目、目標をまとめた「2020年 環境取組プラン」を策定いたしました。

社の上位方針(基本理念、CSR方針など)や社会動向を踏まえた中期計画で、「低炭素社会の構築」「循環型社会の構築」「環境保全と自然共生社会の構築」「環境経営」を主要課題しております。

社会の生活基盤を支える商用車メーカーとして、製品のライフサイクル全般において環境との調和を図り、社会の持続的発展に貢献します。

☒「特集:社会の持続的発展に貢献できる企業を目指して ～「2020年 環境取組プラン」策定～」はこちら

■ 2020年環境取り組みプラン

主要課題	分野	取り組み項目	実施事項・目標等												
低炭素社会の構築	製品	車両CO <sub>2</sub> ／燃費性能の向上	<b>世界トップクラスの燃費水準の達成を目指した技術開発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本：次期規制に向けた燃費向上技術の開発 HV車の性能向上</li> <li>米国：2020年のGHG規制に向けた技術の開発</li> <li>欧州：次期規制に向けた燃費向上技術の開発</li> </ul>												
		クリーンエネルギー車開発の推進	<b>電動化車両の研究開発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>PHV：実用化に向けた研究・開発の推進</li> <li>FC：FC車の開発及び限定発売</li> <li>EV：トラック、バスの実用化に向けた研究、開発</li> </ul> <b>代替燃料対応技術の研究推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオ燃料、その他代替燃料への対応技術の開発</li> </ul>												
	生産・物流	生産活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量の低減	<b>低CO<sub>2</sub>生産技術の導入と日常改善による原単位、総量双方でのCO<sub>2</sub>低減活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ革新技術及び再生可能エネルギーの導入</li> </ul> <b>■ 生産CO<sub>2</sub></b> <table border="1" data-bbox="884 891 1476 1086"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>20年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">グローバル</td> <td rowspan="2">国内連結</td> <td>台当たり排出量</td> <td>08年度比26%減</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>08年度比30%減</td> </tr> <tr> <td>自社</td> <td>排出量</td> <td>20年度原単位目標×活動量</td> </tr> </tbody> </table> <b>CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスの管理</b>	地域	項目	20年度目標	グローバル	国内連結	台当たり排出量	08年度比26%減	排出量	08年度比30%減	自社	排出量	20年度原単位目標×活動量
		地域	項目	20年度目標											
グローバル	国内連結	台当たり排出量	08年度比26%減												
		排出量	08年度比30%減												
自社	排出量	20年度原単位目標×活動量													
物流活動における輸送効率の追求とCO <sub>2</sub> 排出量の低減	<b>輸送効率の一層の改善によるCO<sub>2</sub>低減活動の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場間物流ルート見直し及び積載率向上、トレーラー輸送による効率化</li> <li>低燃費車両の採用</li> <li>補給部品輸送の効率化</li> </ul> <b>■ 物流CO<sub>2</sub></b> <table border="1" data-bbox="884 1384 1476 1503"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>20年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>輸送量原単位</td> <td>08年度比26%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>各国トップレベルの活動推進</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	20年度目標	国内連結	輸送量原単位	08年度比26%減	海外	各国トップレベルの活動推進						
地域	項目	20年度目標													
国内連結	輸送量原単位	08年度比26%減													
海外	各国トップレベルの活動推進														
販売・アフター	販売分野におけるCO <sub>2</sub> 排出量の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内販売拠点における年率1%以上の計画的なエネルギー原単位の低減</li> <li>お客様の走行時CO<sub>2</sub>排出量低減支援(エコドライブ等)</li> </ul>													

主要課題	分野	取り組み項目	実施事項・目標等																
循環型社会の構築	製品	希少資源を使用しない技術開発	排出ガス低減触媒の貴金属低減																
		リサイクル率を考慮した新型車の開発	解体性を考慮した、取り付け構造への取り組み																
	生産・物流	生産・物流における廃棄物の低減と資源の有効利用	<p><b>廃棄物低減技術の導入と日常改善活動における低減活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩留り向上等、発生源対策による資源有効活用促進</li> <li>資源の日野グループ活用推進</li> </ul> <p>■ 廃棄物</p> <table border="1" data-bbox="879 539 1477 694"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>対象</th> <th>項目</th> <th>20年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>廃棄物</td> <td>台当たり発生量</td> <td>08年度比43%減</td> </tr> <tr> <td>国内連結</td> <td>最終処分量</td> <td colspan="2">ゼロ※</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="3">排出量低減につながる管理(数値管理)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※焼却灰も含めた埋立処分量が、廃棄物等総排出量(廃棄物量+リサイクル料)の0.5%以下</p>	地域	対象	項目	20年度目標	国内連結	廃棄物	台当たり発生量	08年度比43%減	国内連結	最終処分量	ゼロ※		海外	排出量低減につながる管理(数値管理)		
		地域	対象	項目	20年度目標														
		国内連結	廃棄物	台当たり発生量	08年度比43%減														
		国内連結	最終処分量	ゼロ※															
海外	排出量低減につながる管理(数値管理)																		
生産活動における水使用量の低減	<p><b>各国各地域の水環境事情を考慮した水使用量低減活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>省水技術の導入と日常改善による節水推進</li> </ul> <p>■ 水使用量</p> <table border="1" data-bbox="879 918 1477 1032"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>20年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>台当たり使用量</td> <td>08年度比40%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">排出量低減につながる管理(数値管理)</td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	20年度目標	国内連結	台当たり使用量	08年度比40%減	海外	排出量低減につながる管理(数値管理)										
地域	項目	20年度目標																	
国内連結	台当たり使用量	08年度比40%減																	
海外	排出量低減につながる管理(数値管理)																		
物流活動における梱包包装資材の低減と資源の有効利用	<p><b>リターナブル化、包装材の軽量化による梱包包装資材の低減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リターナブルラック使用対象国、範囲拡大</li> <li>補給部品梱包方法の見直し</li> </ul> <p>■ 梱包包装資材</p> <table border="1" data-bbox="879 1227 1477 1341"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>20年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>台当たり使用量</td> <td>08年度比57%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">梱包資材使用量の把握と低減活動拡大</td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	20年度目標	国内連結	台当たり使用量	08年度比57%減	海外	梱包資材使用量の把握と低減活動拡大										
地域	項目	20年度目標																	
国内連結	台当たり使用量	08年度比57%減																	
海外	梱包資材使用量の把握と低減活動拡大																		

主要課題	分野	取り組み項目	実施事項・目標等													
環境保全と自然共生社会の構築	製品	各国各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減	<b>各国、各地域の大気環境改善に資する排出ガス車の導入</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本：平成28年排ガス規制対応車の市場導入 平成28年以降の次期排ガス規制の対応技術の研究開発</li> <li>米国：US13適合車の市場導入及び、US16に向けた開発の推進</li> <li>欧州、先進国：EURO6の開発と市場導入</li> <li>一般国：低排出ガス車(EURO4, 5レベル)の導入推進</li> </ul>													
		環境負荷物質の更なる削減	<b>各国の規制物質の増加に伴う、情報の収集、管理と代替材料への先行切り替え</b>													
	生産・物流	生産活動における環境負荷物質の低減(VOC)	<b>日常改善によるVOC低減活動を継続的に推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>塗装工程における塗料、シンナー使用量低減等</li> </ul> <b>■ ボデー塗装</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>20年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自社</td> <td>塗装面積当たり排出量</td> <td>22g/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">VOC排出量低減活動を展開</td> </tr> </tbody> </table> <b>■ その他塗装</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>自社</td> <td>毎年1年単位の低減目標設定</td> </tr> <tr> <td>国内・海外</td> <td>排出量低減につながる管理(数値管理)</td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	20年度目標	自社	塗装面積当たり排出量	22g/m <sup>2</sup>	海外	VOC排出量低減活動を展開		自社	毎年1年単位の低減目標設定	国内・海外	排出量低減につながる管理(数値管理)
		地域	項目	20年度目標												
自社	塗装面積当たり排出量	22g/m <sup>2</sup>														
海外	VOC排出量低減活動を展開															
自社	毎年1年単位の低減目標設定															
国内・海外	排出量低減につながる管理(数値管理)															
社会貢献	各地域・事業所に根差した生物多様性保全活動	<b>生物多様性ガイドラインに基づく取り組み推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各国、各地域の周辺生態系特性に配慮した体系的活動(森林保全、在来種保護等)</li> <li>地域の住民や子どもと共に取組む環境保全活動</li> </ul>														

主要課題	分野	取り組み項目	実施事項・目標等
環境経営	マネジメント	連結環境マネジメントの強化、推進	<b>国内外連結子会社：</b> 各国、各地域でNO1の環境パフォーマンス確保に向けた活動の実施 各国、各地域での環境法令の順守と環境リスク未然防止活動の強化
		ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進(サプライヤー)	<b>サプライヤー：</b> 環境法令順守と部品、原材料、副資材、生産設備等に含まれる環境負荷物質の管理充実および環境パフォーマンス向上の要請
		ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進(販売店・ディストリビューター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内販売：販売会社環境マネジメントシステムによる環境活動の推進</li> <li>海外販売：環境負荷の把握と意識啓発による負荷低減活動の実施</li> </ul>
		グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化	<b>従業員向け階層別環境教育、意識啓発活動の体系的な実践</b>
		環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国、各地域での製品環境技術情報の提供充実(各種展示会への出展等)</li> <li>各国、各地域でのCSRレポート等の発行による情報公開の充実および環境コミュニケーション活動の充実</li> </ul>

